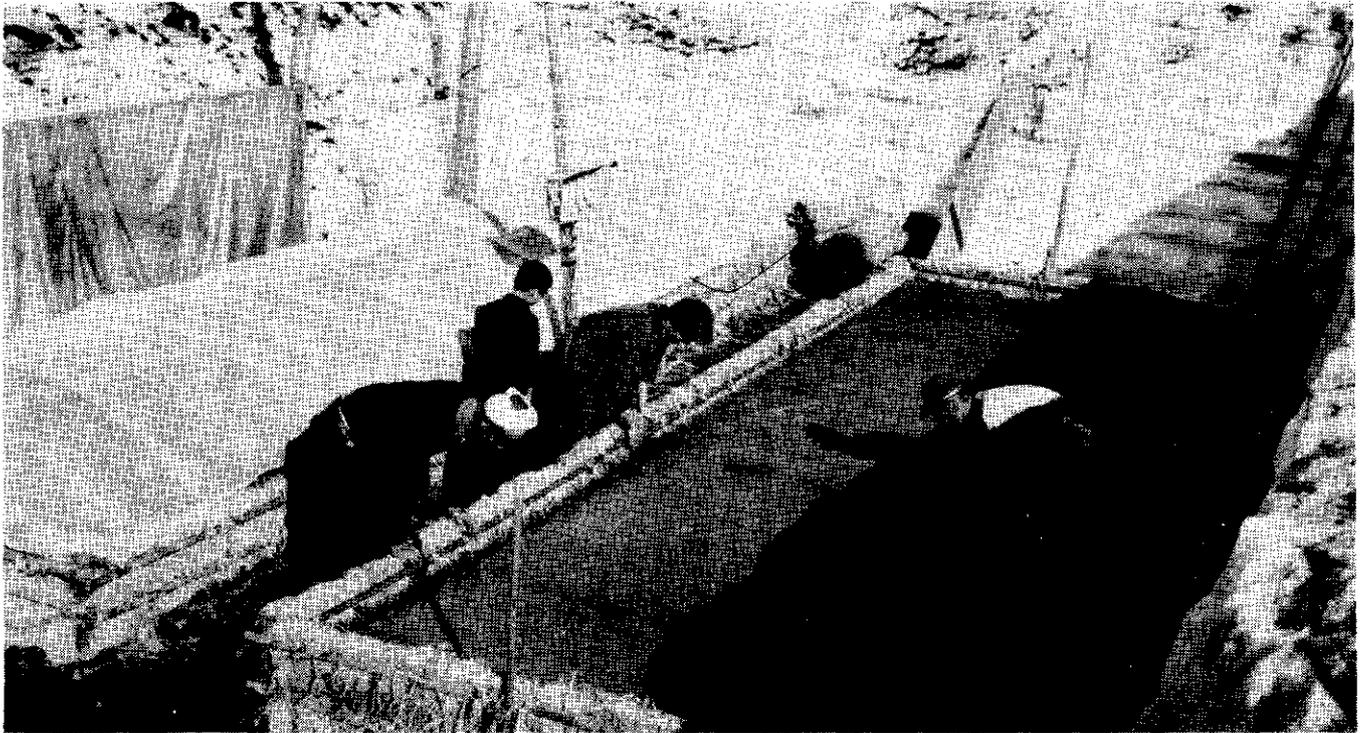


広報かわにし

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社

人口の動き	
4月1日現在	
男	5,910人 (+3)
女	6,136人 (+1)
計	12,046人 (+4)
世帯数	2,572世帯 (-1)
()内の数字は前月との比較	



たばこ床
 祭り太鼓の音にさそわれて、たばこの床に一家総出、うららかな春の陽をうけて移植床の土をならす。この床から17アールの葉たばこが栽培されるそうだ。
 床づくりの除雪に着手したのが2月の25日、そのとき3メートル50センチもあった

雪がウソのようだ。好天つづきで苗も順調に伸びているが、気がかりなのは植え付けの時期だ、春風よ吹け。(4月の天気概況は、移動性高気圧の影響で温暖な日が多い見込みです。末から5月初めにかけては晩霜のおりる所があり、平均気温は高め、降水量と日照は平年並みということです。) 3日写す。

- 四月
- 十日 衛生推進委員総会(役場で)
 - 十一日 婦人の日、婦人週間始まる
 - 十一日 錦鯉組合創立総会、午前十時から役場で。
 - 十三日 上野婦人会総会。
 - 十四日 稲作講演会、午後一時から
 - 十六日 稲作講演会、午後一時から

行事

町議会三月定例会は二十六日閉会したが、この議会で、昭和四十三年度予算の成立をみた。一般会計二億七千一百五十一万七千円、特別会計では、国保施設勘定二千六百九十四万四千

この問題は、簡易水道の普及率二割程度の町にとつて、けだし重大関心事であろう。

この問題は、簡易水道の普及率二割程度の町にとつて、けだし重大関心事であろう。

いすれも、戦後の混乱期から町村合併を経て、新生川西町の基礎づくりにご努力された功労者ばかりです。後進に道をゆずって勇退したこれらのかたがたの多年のご労苦をねぎらい、あわせてこんごのご健康をいのりばかりである。

町議会三月定例会は二十六日閉会したが、この議会で、昭和四十三年度予算の成立をみた。一般会計二億七千一百五十一万七千円、特別会計では、国保施設勘定二千六百九十四万四千

町政コーナー

官庁や金社が新しい年度にはいり入学、進級あるいは就職と、希望にあふれる四月です。役場でも、年度末と年度当初で大忙しな人事の異動があり、ようやく一段落といったところで、

今回の異動のうち特筆したいのは、勸奨退職制度の実施にふみきったことで、その対象となつたかたがたが多数役場を去られました。

この予算は、年次的な実施計画の第一段階をしめすものとしての重みをもち、計画行政のスタートをした意味で記録にとどめてよい予算といえる。

いすれ、その内容については「町政のひろば」で特集してお知らせする予定なので、とっくりとご批評をねがいたい。

三月二十三日には、干手水道建設促進特別委員会から中間答申がでた。その骨子は、水道建設の基本構想と国鉄専用水道利用者の取り扱いの二本である。前者は、すでに掘削した深井戸のほか信濃川伏流水を水源とする案の検討をうながし、後者は、現水道組合が示している補償の条件をよく検討し、すみやかに国鉄当局とこの補償および移譲について交渉を進めるべきだとしている。

- 四月
- 二十二日 岩瀬集楽会
 - 二十五日 ゆうあい号来町
 - 二十八日 仙田婦人会総会
 - 二十九日 天皇誕生日
 - 五月
 - 三日 第二十回成人式午前九時三十分から川西中。憲法記念日
 - 五日 慰霊祭、立夏
 - 八日 世界赤十字デー

役場機構を整備

水道課を新設

四月一日から役場の機構がかなり大幅に変わりました。

まず、川西町設置条例の改正によって財政課がなくなり、税務課と水道課が新設されました。

係では、これまで財政課であった財政係と財産管理係が企画室に移って、企画室は企画係とあわせて三つの係になり、税務課には税務第一係・税務第二係と二つの係ができました。

社会課はこれまでの社会係一本を廃止して、援護係と国民年金係にわかれ、土木課であった水道係は水道課に所属します。

また商工係(産業課)は商工観光係と名称を改めました。税務課の税務第一係は住民税・諸税および町税の徴収を担当、税務第二係は固定資産税とそれに関係のある地籍や土地・家屋台帳などを取り扱うことになりました。

この異動と同時に、農業委員会事務局が一階から三階の事務室に水道課は町長室へ、土地改良区が

三階から一階へと、それぞれ移動しました。

事務室の配置の変動については有線放送で連絡の場合や来庁の際にはご注意ください。

人事の異動

水道課長事務取扱に助役田口一男、橋診療所長に大房一保を発令したほか、次の異動があった。

退職(三月三十一日付)

総務課長高橋友義、国保衛生課長平沢徳松、収入役室長副収入役金山良晃、社会課長数藤信善、千手診療所事務局長榎岡富平、国土調査課国土調査係長山口芳蔵、産業課農業共済係長星名栄吉、白倉小中学校用務員保坂マイ、橋出張所用務員高橋サキ、橋小学校用務員大久保イワ、千手診療所炊事婦八子ハナ、総務課住民係主事榎岡ヒサ、千手保育園保母蔵品順子、同宮内フミエ、川西中学校用務員登坂耕太郎、同登坂イト。

配置換

(四月一日付) 総務課長雨雲春雄(産業課長) 産業課長佐藤寛平(農業委員会事務局長) 収入役室長、副収入役田口一朗(財政課長) 企画室財政係長小川益栄(財政課財政係長) 総務課住民係 小海太輝(財政課) 同文書係太田昭子(農業委員会事務局) 企画室財政係五十嵐ワカ(国土調査課) 土木課土木係高橋一(産業課) 同大

海基二(同)。同大海均(同)。国保衛生課衛生係丸山誠一(橋診療所)。同渡辺照男(千手診療所)。同西方淑江(同)。議会事務局小海正隆(財政課)。農業委員会事務局清水好子(総務課)。(庶務係)。国保衛生課国民健康保険係長小林英一(国民健康保険係)。国土調査課国土調査係長山田五作(農林係)。公民館主事兼青年学級主事坂田国夫(公民館主事)。千手保育園長白井マサ

昇格(四月一日付)

税務課長水品忠雄(税務係長) 社会課長根津正治(社会係長)。国保衛生課長名越三(国民健康保険係長)。農業委員会事務局長沢口富士雄(土木係長)。企画室企画係長小林力(企画係)。同財産管理係長高橋英雄(国土調査係)。産業課農業共済係長上村健一(農業共済係)。税務課税務第一係長須藤良平(税務係)。同税務第二係長中村義雄(議会事務局) 社会課援護係長押木良作(社会係)。同国民年金係長馬場光雄(土木係)。水道課土木係長榎岡富雄(土木係)。水道課水道係長押木秀治

新採用(四月一日付)

産業課ほ場整備係小幡邦保。同農林係高橋博行。税務課税務第二係数藤進吉。同税務第一係小野塚高志。社会課援護係五十君利夫。土木課土木係村越久吉。国土調査課国土調査係平野角栄。同橋沢敏雄。教育委員会事務局古沢敦子。川西幼稚園林直子。千手保育園平野登美枝。同田口幸江。橋小学校大久保克治。

農耕用 軽油の免税証交付

交付場所：十日町財務事務所(川原町) 交付期間：四月二十二日から二十六日まで



候にあわせて冬物の始末を始めましょう。冬物はよごれをそのままにしておくとしみになったり、虫にくわれたり、かびがはえたりします。始末をしたら茶箱や洋服箱にそれぞれ品名を必ずつけて収納しておきましょう。

冬物はよごれをそのままにしておくとしみになったり、虫にくわれたり、かびがはえたりします。始末をしたら茶箱や洋服箱にそれぞれ品名を必ずつけて収納しておきましょう。

と、肺炎を併発し、とり返しづかぬことになりま。ほこりっぽいためか、流行性の結膜炎にかかるかたも多い時期です。たれかひとり家の中でかかると次々に感染します。しかも、完治までに二、三週間ばかりかかる眼病です。感染したらすぐに医者の治療を受け、ほかの人にうつさないように、医者の注意をよく守ってください。予防には毎日何回でもきれいな水で目を洗うこと、よごれた手で目をこすらないことが効果的です。

四月には、冷えてから、時として急な冷え込むことがあります。分を考えてみましょう。

町章募集

ふるって応募を

あなたは、もう町章のデザインをお考えになりましたか。先月号で募集要項を発表してから一か月が過ぎ、応募もぼつぼつといった状況ですが、予定していたような点数にはまだ物足りません。

町章の将来の主役である児童生徒のみならず、技術的に、じょうず、へたは別として、その新鮮な思考力をデザインに生かしてみませんか。

町章はぜひ婦人の手で、という婦人会、婦人学級の有志はないでしょうか。

ことし、成人式をむかえた、はたちのみなさん、みなさんふるって応募してください。

募集の要点

● 応募の資格や点数に制限はありません。

● 用紙は面用紙を使い、作品の大きさは十センチ程度にまとめること。形状も制限しません。色彩は三色以内とします。

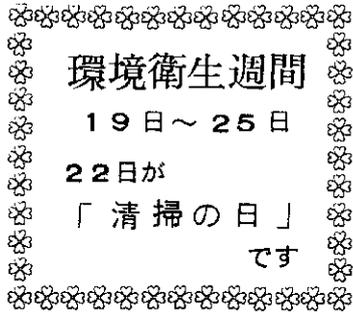
● 応募締切日は五月十日

● 賞金は入選一点一万円、選外佳作二点各二万円、入選作のいっさいの権限は町に帰し、応募作品は返しません。その他、不明の点は企画室へ問い合わせること

環境衛生週間

19日～25日

22日が「清掃の日」です



環境衛生週間 19日～25日 22日が「清掃の日」です

角膜提供の第一号

赤谷の高橋レンさん

世の中には、目が見えないで不自由な生活をしている人が大ぜいいます。

しかし、近代医学の進歩は角膜の移植によってこの不幸な人がたに光を与えることに成功し、そのため必要な死亡後の角膜提供者の募集が行なわれていることはご存じの通りです。

高橋レンさん(赤谷 世帯主信雄さん)は、歩くことができないという不幸な運命のもとで生まれましたが、学校に行くこともできず、家だけが与えられた世界のすべてという生活でした。

ご本人は

一月に死亡

昭和十七年、治療のため十日町病院に入院したレンさんは、それ以降、両足切断等五回にわたる手術を受け、苦しい闘病の日々をおくっていました。

そうした生活の中で、「世間のお世話になっただけで何もできなかったわたくしです。せめて、この目が社会のお役にたつなら、ぜひとも使ってくださいたい。」と、昨年、角膜提供の登録を済ませたのです。

レンさんはその後、病院での治療や、家庭での看護もおよばず、

とうとう一月十六日、四十一才で一生を終えた。

家族のご承諾を得てレンさんの意思は生かされ、故人の角膜はたに新大病院に送り、十七日に新井市の三十九才の男のかたと、堀之内町の五十五才の女のかたと移植された。

角膜提供

現在四人が登録

いまはなき高橋さんの善意が実現して、移植をうけた二人が開眼するように、故人のごめいふくとおわせてお祈りしたい。

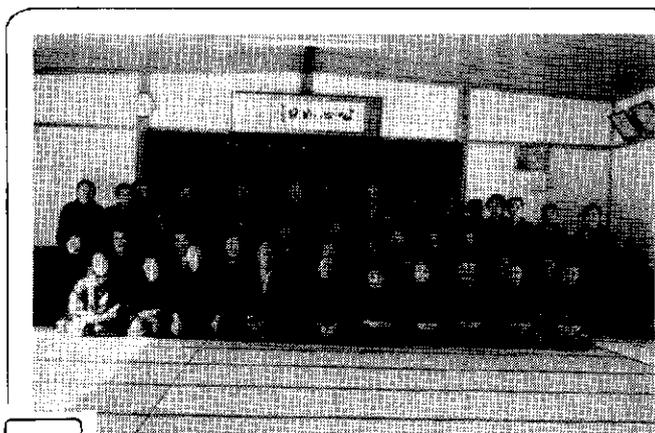
なお、現在川西町の角膜提供登録者は四人です。

登録の事務は、役場国保衛生課で取り扱っていますが、係では視力障害者の開眼にご協力いただけるかたがたの登録を呼びかけています。

角膜というのは目の

かいつ 悪い部分のことですが、視力障害者のすべてが、この角膜移植によって開眼できるというものではないようです。

健全な目を持つ死体から二十四時間以内に移植をするもので、このいっさいの手続きを行なうのが欧米ではアイ・バンクです。わが国でも、昭和三十三年に「角膜移植に関する法律」ができて、視力障害者と角膜提供者を指定病院に登録して行なうようになった。



広報フレイッシュ

お祭の太鼓の音が風に流れているのを耳にしながら、ここに会四月例会の会場である公民館に足をふみ入れた。夏場、季節保育所になる階下は、冬でも子ども達の絶好の遊び場のように、きょうも二、三人が、モクロンジを連想させるような日やわけていた。四月三日のことである。

ここにこの会が発足したのは三十八年で、現在の会員数は七十二名たそうである。すでに四十人ちかい会員が集まっている。「おやっこの

老人クラブ訪問①
中仙田に「ここの会」
ん立場になると加入できるしくみたという。ご夫婦そろっての会員は十組であった。年度当初の会合ということ、きょうは四十三年度の事業計画や収支予算書を審議したり、金子社教主事の講話を

聞くとといった日程になっていた。それと広報子の記念撮影事業計画を拝見すると、健康食とか健康管理についての勉強や映画会のほか、出かせぎと老人の役目について話し合ったり、留守家族懇談会など、なかなか意欲的である。十月の老人の日には明治百年記念植樹の計画もあり、「孫の木植樹」というのがたのしい。会員のひとり作詞したという、ここにこの会の唄の一節を紹介してみよう。 月に一度の集会を 待ちて楽しく集まれば 踊りも出れば唄も出る 明るく生きようほがらかに

みなんですすめよう 明治百年記念緑化運動

ことしは明治百年にあたり、記念行事がいろいろと予定されていますが、国土緑化推進委員会を中心にしてすすめている植樹、造林運動もそのひとつです。

個人、団体を問わず記念植樹、記念造林にはけみ、生活に潤いを与え、基本財産を造成し、愛林意識を育てよう。そして明治百年の年輪を考えようというわけだ。

記念植樹、造林をした場所に、新潟県の造林は全国的にみて低水準の状況で、年間の造林面積は、

約四千三百haになり、山林面積の五十五万haと比較して少ない数字になっています。一方、山林から生産される木材は六十七万三千m³ですが、消費量は百四十五万m³もあって、生産不足が目立ちます。外材の輸入にたよっているのがうなずけます。

基本財産——造林
川西町の山林面積四千八十七ha(全町面積の五十四%)のうち、用材林面積は四百六十七ha。かりに樹齢五十年で伐採するならば年間九・三二haの伐採になります。

これを造林面積と比較すると、

育林途中のロスを見込んでも用材林が増加する計算になるのですが、用材林が山林面積の十一%程度ということを考えれば、まだまだ造林を奨励しなければなりません。

記念樹は、寿命が長いこと、樹勢が強いことが絶対的な条件で、できれば花が咲くもの、果実を楽しめるような木もよいでしょう。ハナミズキ、タイサンボク、クログネモチ、ハナノキ、ヒメコマツ、モクセイ、ゲツケイジユ、あるいは梅、桜、柿などもよい。

忘れもの 三月十二日ころ役場のシブの中に置き忘れた女物の長靴を企画室で保管しています。心あたりはありませんか。

全国表彰に輝く 木島こども会

木島こども会が、三月二十三日東京で行なわれた青少年育成国民会議主催の昭和四十二年度一青少年の表彰で、はえある全国表彰を受けた。

小さな親切の実行章がこどもたちみんなに贈られるなど、昨年十一月の県表彰に重ねての喜びである。

また、町内の中村貞吉さんから

は、こども会旗が寄贈され、町内ぐるみでお祝いが行なわれた。

木島こども会は、花壇づくりや降雪前の遊園地の清掃のほか、毎月第三日曜日を清掃の日と決めて、廃品や危険物の整理をしている。

五年前から、これらの事業で得た収入の一部はこども会の活動資金にあて、歳末たすけあいや各地の災害には町の社会福祉協議会を

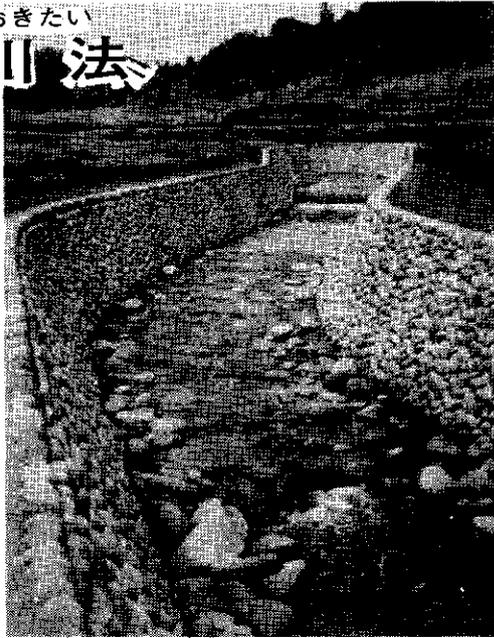
通じて救済活動をつづけてきた。

また町内の冬季分校に訪ましの手紙をそえて本や鉛筆などを贈っていた。これは、はじめは自分たちの持っている本の中から選んでいたが、最近廃品を売ったお金で新しい本を買って贈るようになった。その分校のお友だちとは、春になると交歓会をひらくのもならわしになっている。

以上のような活動が認められて今回の表彰となったもの。

なお、表彰式は新宿の日本青年館で行なわれ、会員五人が出席した。

だれもが知っておきたい 河川法



河川のはらんによって起こる災害を防止し、河川が適正に利用されるよう総合的な河川管理、国土の保全開発、安全と福祉の増進を目的として制定したのが河川法です。

この法律によって、全国的主要河川は広域的に国が管理しており河川法に基づく河川の使用等に関する許可の事務は、信濃川水系では、建設省長岡工事事務所が取り扱っています。

次のような場合は河川法による許可が必要です。

- ① かんがい、または養魚などの
- ② 畑耕作等の目的で河川敷地を占有しようとするとき。
- ③ 河川敷地内で砂利等を採取しようとするとき。
- ④ 河川敷地内に工作物を設置しようとするとき。
- ⑤ 河川敷地内で土地の掘削や盛土をしようとするとき。
- ⑥ 堤内の民地であっても、堤防尻から十メートル以内の区域で土地の掘削、盛土、家屋の新築または除去をするとき。

なぜ、このような許可が必要かという点、無秩序の使用によって起こる障害をなくし、多数の同時使用の場合の混乱を調整するためであり、違反した場合の罰則もあります。

法律を守ると同時に、堤防や川にゴミなどは捨てないこともたいせつです。

許可申請については、長岡工事事務所十日町出張所にご相談があります(電話十日町二一八〇)。

戸籍の窓から

うぶ声—おす—やかに

- 高橋ひな子 幸吉長女 高倉
- 金井 和子 千吉二女 室島
- 大野 恵 喜教長女 大白倉
- 押木 秀樹 米作長男 元町
- 山口 賢 功 長男 上野
- 山口 悟 功 二男 上野
- 佐藤 知明 新一郎長男中仙田
- 渡邊由起子 正一二女 鶴吉
- 水落 克巳 宏志二男 仁田
- 高橋 博文 鉄太郎長男 高倉
- 高橋 童市 庄三長男 高倉
- 丸山 武志 富平二男新町新田
- 渡邊 常隆 強 二男 鶴吉
- 田口 戴 實 長女 木落
- 小川 力 利芳長男 赤谷
- 三浦 克典 則夫長男 永公
- 南雲 健二 利夫二男 中屋敷
- 丸山 敏子 久一郎長女 深

- 吉楽 泰子 常作長女 神社町
 - 星名美津子 得司長女 越ヶ澤
 - 小林 義明 義春二男 中仙田
 - 中村 秀春 晤 二男 大白倉
 - 羽鳥 松一 一郎長男 伊友
 - 大海 延也 基二長男 高原田
- たかさこ—円満に
- ◎新郎 渡邊 正三 鶴吉
 - ◎新婦 小野家 幸 津南町から
 - ◎新郎 川崎 一男 越ヶ澤
 - ◎新婦 登坂ヤスイ 岩 瀬から
 - ◎新郎 丸山 進 原 田
 - ◎新婦 丸山サチ子 原 田から

昇天—ごめい福を祈る

- 清水 ツタ 下平新田 八四
- 江口 ヨマ 小白倉 八三
- 田中 吉蔵 小白倉 七八
- 小林 ハル 中仙田 七四
- 平野 トミ 四郎兼 七三
- 星名 照子 上野 六八
- 保坂 梅野 神立 四八

ことしの成人式 小野喬氏を 招いて

五月三日(憲法記念日)午前九時三十分から、川西中学校体育館で行ないます。

本年は、第二十回の成人式にあたるので、特にそれを記念するため、世界体操界の第一人者である小野 喬氏を招き、"オリンピックと私"と題して講演をお願いすることになりました。

この記念講演のはじまるのが午前九時三十分からで、一般にも開放いたしますから多数ご参加ください。

稲作大講演会

四月十六日(火)午後一時から役場四階会議室で開きます。講師は県専門技術員の村山鎌太郎さんです。多数ご出席ねがいます。

採血車 「ゆうあい号」が やってくる

血液不足が広く訴えられています。次の予定で日赤の移動採血車「ゆうあい号」がやってきますから、ひとりでも多くの献血をお願いします。

1 日時：四月二十五日午前九時—午後四時

2 場所：川西町役場前

3 申込：公衆衛生推進委員が役場の衛生係あて

4 その他：一時間で二十人くらい採血できます

※だれでも、いつ、どんなとき血液の必要が生じるかわからない。献血は相互扶助です。

かわにし俳壇

太田白南風選

藤沢 つほみ会
真綿よる春日の窓を開け放ち
新潟市 南雲 文峯
雪の中より突き出で、猫柳
小白倉 田中 翠畝
雪暮るゝ霊柩送る列黒く
発題所通り 小川 越人
笹の葉の出ている坂や春の雪
春分の日雪深く機音
上野 富井 貞生

〇湯けむりや雪解の早き湯元茶屋
温泉湧く湯壺に春菜茹でをり
赤谷 登坂 武子
雪どけの水かさ増せる屋下り
新潟療養所片桐 香坊
白き手を春日にかざし行ける人